

僕たちの青春はちょっとだけ特別

雨井 湖音／著 東京創元社 7913.6



あおさき かづき
明星高等支援学校に進学した青崎架月は、それまで周囲に理解されない孤独を感じながら生きてきた。

しかし、同じように障害や生きづらさを抱える仲間たちと出会い、ぶつかり合いや戸惑いを経験しながらも、互いを認め合い支え合う中で、架月は初めて本当の友情の温かさを知る。先輩が巻き込まれたゴミ散乱事件、ロッカーの中身移動事件、生徒失踪事件を同級生や先輩の手を借りながら解決していく。

高等支援学校を舞台に青春と謎を描く連作学園ミステリ。

＊シリーズ続編「僕たちの青春と君だけが見た謎」もあります。

図 書 館	月	火	水・木・金	土・日
BOOKOFF 東大和市中央図書館 0 4 2 - 5 6 4 - 2 4 5 4	午前 1 0 時 ～午後 5 時	休 館	午前 1 0 時 ～午後 7 時	
桜が丘図書館 0 4 2 - 5 6 7 - 2 2 3 1 清原図書館 0 4 2 - 5 6 4 - 2 9 4 4	休 館	午前 1 0 時～午後 7 時		午前 1 0 時 ～午後 5 時

＊定期休館日
【BOOKOFF 東大和市中央図書館】火・第3木・祝日(土日と重なる場合は開館)
【桜が丘図書館・清原図書館】月(祝日の場合は開館)・第3木・祝日の翌日
(祝日の翌日が土日の場合は、翌週火曜休館)

東大和市立図書館
公式ホームページ

資料検索、予約、
お知らせなどの最新
情報を載せていま
す。



スマホで図書館！
市公式LINEでお友達登録

利用カードの番号表示や
図書館ホームページへの
アクセスが簡単、資料検
索もラクラク。



中央図書館の自習席(先着10席)

中学生以上の学生の方、進学希望の方が利用できます。
図書館利用カードを持って、レファレンス室でお申込みください。

日本語どんぶらこ ことばは変わるよどこまでも

飯間 浩明／文 金井 真紀／絵 毎日新聞出版 810.4

へんさんしゃ
国語辞典編纂者が次々生まれる新語や語源を
大追跡！

「『あーね』という相づち、使う？」、「つ
い口癖になる『気まずい』」、「〇〇構文」、
「『かわちい』の『ちい』って？」など、なん
だか気になる身近な日本語や若者ことばを取り
上げて、どうしてこんな使い方をするのかを面
白おかしく紹介。

他にも、読書感想文を書く方法や、人にいや
なことをされたときの言い方など、日常生活に
役立つ話題も。

＊他シリーズ「日本語をつかまえろ！」もあり
ます。



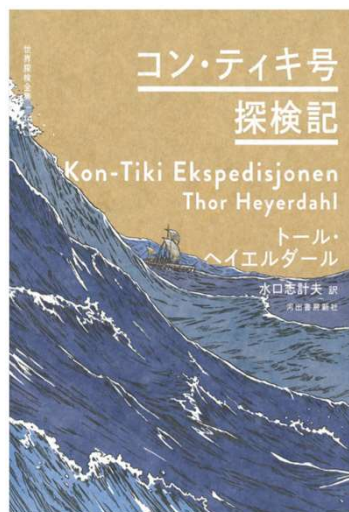
コン・ティキ号探検記

トール・ハイエルダール／著 水口 志計夫／訳 河出書房新社 290.8

「古代ペルーの人々は太平洋をいかだで横断して、ポリネシア人の先祖となった」－その仮説は、本当に実証できるのか？

若き探検家たちが常識に挑み、約8000キロの航海へ！勇気、好奇心、仮説の検証が詰まった実話『コン・ティキ号探検記』。冒険好きなら、挑戦する意味を考えたくなくすること間違いなし。

世界中の冒険家の名著を集めた「世界探検全集」全16冊を、この夏、おもいっきり堪能しよう！



クローバー

ナ・ヘリム／著 キム・キョンスク／訳 講談社 93ナ

貧しい中学生の男の子ジョンインは両親がおらず、祖母と二人で暮らしている。アルバイトで日銭を稼ぐ暮らしの中、修学旅行に行ける選択肢はないジョンインをクラスメイトたちがからかっていた。

そこに、黒猫の姿をした悪魔のヘレルが現れる。欲望や嫉妬の感情を抱いた魂が食べたい悪魔は、心売らせるために「もしも」と願えば望むものを与えようと言い寄ってくる。

貧しさと祖母の愛情との中で葛藤するジョンインの選択はいかに・・・。



波の子どもたち

チョン・スユン／作 斎藤 真理子／訳 岩波書店 929.1

北朝鮮で育った、行動力のあるソル、サッカー好きのファンミン、賢く冷静なヨルムが自由を求めて故郷を離れて新しい人生を目指す物語。

旅の途中には、家族との別れ、不安や孤独、そしてさまざまな困難が待ち受けている。それでも仲間を信じ未来をあきらめずに進む姿に心を打たれる。

ハラハラする展開と登場人物の三人の成長に引き込まれ、最後まで夢中になり自由がどれほど大切なものかを考えさせてくれる一冊。



海は忘れない

村上 しいこ／著 小学館 4913.6

はるる
高校二年生の遥瑠は、自転車事故をきっかけに昭和33年にタイムスリップしてしまう。

はまぐち はるこ
そこで「浜口晴子」という少女として暮らしながら、戦争の傷あとが残る時代を生きる人々と出会う。

歴史の出来事としてしか知らなかった戦争が、多くの人生や幸せを奪った現実だったことを知った遥瑠。それぞれの思いを胸に海と向き合いながら大きく成長していく。

悲しみや喪失を抱えながらも前へ進もうとする人々の姿を描いた物語。

